

教科	科目	単位数	学年	学科・選択等
工業	実習	4	2	電気電子科

科目の概要	実際に実験・実習機器を取り扱い、各種の電気現象や相互作用を理解し、理論式との関連を習得する。		
学習目標	電気に関する諸量の測定の仕方、結果の取り扱い、整理の仕方やその内容の検討能力を習得する。 各種機器、測定器の取り扱い方法や活用の仕方を習得する。		
教科書	作成教材（プリント）等		
副教材等	新版電気・電子実習2（実教出版）		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	実験実習の内容を理解し、回答することができる。言語実習では個性のあるプログラムを作成できる。測定データを的確にまとめて、報告書を書くことができる。	測定において、正しく計器を使い実験することができる。回路を理解し、正しく取付け、接続ができる。プログラムを理解し正しい命令語を使うことができる。	計測実習では、積極的に回路の結線やデータ収集に取り組むことができる。製作実習では、工具の取扱いが正しくできる。言語実習では、積極的に課題に取り組むことができる。
評価の方法	レポートの内容を含め、授業での取組をテーマごとに点数化して評価する。		
担当者より（注意事項等）	レポート提出日が決められているので、期日を厳守すること。 計測実習で使用する計器を的確に判断でき、回路の結線が出来る様にして下さい。 正しく実習服を着用し、安全第一に努めてください。 実習は、グループによる作業が多いので協力して行います。		

◎年間学習計画

学習内容	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
コンピュータ（C言語）	○	○	○	○	○					
シーケンス制御実習	○	○	○	○	○					
直流機速度制御、無負荷試験・負荷試験	○	○	○	○	○					
電気工事	○	○	○	○	○					
電子工作基礎	○	○	○	○	○					
トランジスタの静特性・周波数特性						○	○	○	○	○
シーケンス制御実習						○	○	○	○	○
単相変圧器の特性試験・三相結線						○	○	○	○	○
交流ブリッジによるRLC測定・直並列共振回路の測定						○	○	○	○	○
電子工作基礎						○	○	○	○	○